

NEWSLETTER

No121719

[12]が今週エクスパイアし、新しいサイクルに入ります。
昨年の12月からここまで順調に進んできたと思います。

そこで、[12]がエクスパイアを迎えるのを機に過去1年を振り返ってみましょう。今後さらに高い水準を目指してステップアップを図るのに必要なプロセスです。昨年(2018年)12月は数値が大きな変化を見せ構造に歪みが生じました。振り返ることで多くのことに気づきそこから学ぶことができます。

⇒ 2018/12 ~ 2019/12 E レビュー(下) ↓

ナンバーオペレーションに自信を持ち他の仕事を辞めて独立された方から報告がありました。ひとりやふたりの例ではなく今年は思いの外多かったので私としても嬉しく思います。もちろん、そのような方が高い技能を身につけ実績を積み重ね独り立ちしてやっていけるだけの自信を持つに至ったからといって実践学習がそこで終わるわけではありません。そのような方は一段高い次元が既に見えているはずで、それを切り開きさらに自分の世界を広げて進んでいけます。ナンバーオペレーションという「思考の世界」(“仮想現実”)は、無限の可能性を持っています。尽きることのない興味を追求し続けてほしいと思います。レポートの読み方は自分の中の質の向上とともに自然と変わってくるはずで、一定のレベルまでくるとレポートをワークブックあるいはワークシートとして活用できるはずで、その意味で、うまく利用していただけるように配慮しています。

そのようなレベルに到達した方は共通してナンバーオペレーションの“本質”が本当に見えていると思います。ナンバーオペレーションの“本質”は幾層もの秘密のベールに覆われています。表面からは見えません。

と見れば数学的合理性(=本質)と価格変動(相場)は相関関係にある。レポートがそのレベルまで行ける。↑

ナンバーオペレーションの本質は価格変動ではありません。「ナンバーオペレーションは“相場”ではない。」とこれまで幾度も述べたことの本質的な深い意味に気づきそれを実践に結びつけた人が“最後に”(その方がこれまで経験してきた中での“最後”[=最も新しい経験]という意味で、本当の意味では“最後”ではなくお“途中”に過ぎません。)到達したのが上記の方のレベルです。

そのレベルには誰もが到達できますが、そのためには“本質”に気づきそれを受け入れなければなりません。

上記の方の例に皆さんの多くが続きことでしょう。しかし、皆さん全員にナンバーオペレーションを本業にしてほしいわけではありません。これまでのお仕事を続けナンバーオペレーションを副業として長く継続してほしいと思います。副業が本業に追いつき同じレベルになっても2つの仕事を続けていくことができるでしょう。

ナンバーオペレーションは純粋に数学や物理学のような自然科学をベースにしています。それは経済社会とは異なる価値観を持っています。

ナンバーオペレーションは数学的合理性によって成り立っています。

↑このことを覚えておいてください。数学的合理性...これこそが収益を生み出す“からくり”なのです。